

令和7年度

地域からゼロカーボンを考える

気候変動への対策が世界全体の大きな課題となっています。2050年までに脱炭素社会を実現するためには、住民、事業者、行政などあらゆる主体が一丸となり社会全体で取り組むことが不可欠です。特に脱炭素化に向けた再生可能エネルギー等新たな地域資源の活用は、地域経済の循環にもつながり、地域の持続可能性を高める取組として期待されています。

この研修では、地域資源を活かした再生可能エネルギー等の活用や課題などについて学びます。

開催要領

日 程

令和7年9月24日(水)～9月26日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

再生可能エネルギーの活用・見直しを検討している市区町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申込みください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

11,000円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年8月8日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。**議員の方は、議会事務局を通じて**お申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和7年

9月
24日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～14:00

講義 地域脱炭素と地域循環共生圏について

環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長補佐兼地域脱炭素創生室長補佐 岡崎 真弓 氏

ローカルSDGsの実現と脱炭素の地域の未来像に向けて、取組みや支援策、ゼロカーボン実現に向けた現状とこれからの課題等についてお話しいただきます。

14:15～17:45

事例紹介

コーディネーター・特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 主任研究員(理事) 山下 紀明 氏

(導入講義) 地域からゼロカーボンを考える

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 主任研究員(理事) 山下 紀明 氏

地域における持続的な再生可能エネルギーや自治体施策の必要性とその手法等について要点を絞ってお話しいただき、事例紹介・意見交換に向けた導入講義をいただきます。

①「脱炭素×創造的復興」によるゼロカーボンビレッジ球磨村の取組み

熊本県球磨村復興推進課 主査 簗田 武洋 氏

株式会社球磨村森電力 取締役 高橋 充 氏

株式会社球磨村森電力と連携した、災害復旧からの復興事業と脱炭素事業を一体的に推進する取組みの状況や課題、今後の展望についてお話しいただきます。

②ゼロカーボン防災型まちづくり

高知県黒潮町環境政策室 室長 宮川 智明 氏

再生可能エネルギーを活用したゼロカーボン防災型まちづくりの取組状況や、「脱炭素カルテ」の導入・作成についてお話しいただきます。

意見交換

受講者同士で所属自治体の現状や取組を共有し、互いの事例から今後の対応策等についてヒントを得ます。※事例紹介講師にも参加いただき、アドバイス等をいただきます。

18:00～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和7年

9月
25日(木)

9:00～17:00

講義・演習 地域におけるゼロカーボン推進ストーリーを考える

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 主任研究員(理事) 山下 紀明 氏

地域にとって望ましい再生可能エネルギーのあり方と活用方法等お話しいただきます。

演習ではグループに分かれて再生可能エネルギー活用における住民等との合意形成と脱炭素政策の政策手法等の課題演習に取り組みます。その後発表し、講師から講評をいただきます。

9:00～12:00

講義 再エネ拡大を支える分散型調整力の活用と住民参加

芝浦工業大学 副学長 システム理工学部 教授 磐田 朋子 氏

再生可能エネルギーの普及や出力変動への対策として注目される分散型調整力の創出に向け、心理学の視点から住民参加を促すための方策や実践事例についてご紹介いただきます。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和7年

9月
26日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。